



ふなばし

国際交流協会ニュース

<第 42 号>

2009 年 6 月 ● 日発行



谷津バラ園散策

谷津バラ園と干潟を国際交流ウォーキング

交流グループ 伊藤 ヨンシ

5 月 16 日 (土) 京成谷津駅に 10 時に集合し、11 名 (外国人 3 名含む) で出発しました。

谷津の商店街を通り抜けて行くので、皆さんそれぞれのお店が気になりました。まず、谷津のバラ園へと足を進めました。土曜日なので人出も多く賑やかでした。色とりどりのバラの花、そのほのかな甘い香りに包まれながらひとときの安らぎを感じました。その後干潟の周りをおしゃべりしながら歩きました。鳥たちは数羽しかおらず、今の時期はきっと北の国に飛び立ってしまったのでしょうか。干潟ももう少し清潔であっ

てほしいと思いました。鳥たちのためにも...

お昼は自然観測センターの奥にある公園の芝生の上でおにぎりなどを食べ、しばらく談笑しました。また帰りは皆さんで干潟の周辺を歩きながら商店街へと戻って行きました。喫茶店で一杯のコーヒーで喉をうるおし、往きで気になっていたお店で買い物をして解散しました。

この日はウォーキング日和で、寒くもなく暑くもなく曇り空の下を約 4 km のウォーキング道を元気に楽しく歩いて帰りました。本当に素晴らしい 1 日でした。

平成21年度的主要な協会行事

7 月 29 日	ライブ講演会 桑山紀彦氏	きららホール
8 月 22 日	アンデルセン童話マラソン読書会公開講座	中央公民館
8 月 29・30 日	災害時外国人のための避難所宿泊訓練	市内小学校
9 月	美術館・博物館めぐり	場所未定
11 月 1~5 日	西安へ市民団体が訪問	〈西安市・船橋市 友好都市締結 15 周年記念事業〉
11 月	年賀状作り	
12 月	カリフォルニア州立大学イーストベイ校	第 20 期留学生募集開始
2 月 14 日	ニューイヤーパーティー2010	
2 月	「災害時外国人支援ハンドブック」発行予定	
2 月	日本料理基礎講座	

国際理解公開セミナー「アマゾンに夢を託して」

平成 21 年 5 月 2 日（土）開催

講師 ^{ながさか}長坂 ^{まさる}優 氏

現：アマゾン森林保護植林協会会長

俗称：アマゾンの長

自称：アマゾンの百姓



「森林」を講義する 長坂 優 氏



一般応募約 40 名の聴講市民

5 月 2 日（土）午後 6 時から、船橋市勤労市民センターで、2 時間の講演が開催された。講演はアマゾンでの、約 45 年間の生活体験が語られた。内容としては

- ・ アマゾンの自然と社会紹介
- ・ 日系人の活動と日本人の強さ素晴らしさ
- ・ 自然の大切さ
- ・ 開拓生活で自然から学んだこと
- ・ 外から見た日本と将来の祖国への心配ごと
- ・ 日本からの 16 名の問題児を自然学校で社会復帰させた体験談

さらに、アマゾンでは熱帯雨林が伐採ですでに 16% も消滅し、再起不能となっている。これ以上森林破壊が進めば人類はもちろん、地球上の生き物全てに危機が来る。緑の大切さを再確認して、緑を育てる運動で苗木を植える「地球人 一人一本植林運動」の参加募集があった。

広報委員 中谷

平成 21 年度 国際交流協会総会が開催される



田村協会会長の挨拶

5 月 20 日（水）、午後 3 時、船橋商工会議所 6 階ホールにおいて平成 21 年度第一回協会総会が開催された（出席者は 60 名）。田村協会会長の挨拶の後、小石副会長が議長に選出され議案審議が進行された。平成 20 年度事業報告、平成 20 年度収支決算報告が承認され、続いて 21 年度事業計画、21 年度収支予算も審議・

可決された。（詳細はすでに配布されているお手元の資料、協会ホームページを参照）

総会后、懇親会が持たれた。出席者は 56 名であったが、3 月に催された「協会活動説明会」が功を奏したのか、新たに委員会活動に参加する多くの方々の紹介があり、約 80 ヶ国、1 万人を超える在船外国人と船橋市民が共生できる環境を目指す、協会員の願いが量質ともにゆっくりとではあるが実を結びつつあるように感じた。

広報委員 坂井



懇親会の風景

外国人の働いている職場訪問（第2回）

中華料理「東魁楼」

今回ご紹介する職場は、中華といえば「東魁楼」といわれ、本場の味を伝える地元の老舗です。脇田社長さんにお話をお聞きすると開口一番「私の家内も中国からここに来て、日本語教室・スピーチコンテストなどに参加した、国際交流の草分けです」とぼつり。

このお店のご自慢の料理は？の問いに「北京ダックですね」とのことで企業秘密とも言える厨房を案内していただく。北京ダックの仕込みは日本に来て15年の



陳 運西さんと7年の陳 殿其さんが担当。香港製という大きな焼き釜にダックが丸ごとフックにかけられて、焼かれていた。お二人とも香港出身で、中国の本場の味を生かしながら日本人に好んでもらえる味にするよう、日々研鑽しているそうだ。ダックは生のまま輸入し、その味が変わらないように、

温度調整された大きな室に格納される。

使う時に水飴を塗り、固め、艶を出して焼く。表面がきれいに焦げ、あの香ばしさが滲み出たらでき上がりとなる。

調理場にはまだまだ本場の味を伝える中国人がおり、点心などそのおいしさを巧みに料理して働く姿があった。

帰りのホールでかいがいしく働く中国福建省出身の在日5年という俞 珠卿さんの姿が目立った。彼女は日本国籍を取得した夫と二歳の男の子の3人家族とのこと。

「とても楽しそうですね」と声をかけると「お客様にふれあう仕事ですから」と、にっこり。料理の説明などをし、お客様が楽しくおいしそうにお料理を召し上がって下さるのは、とっても嬉しいことだそうだ。彼女の日々満たされた職場での一コマを垣間見て、東魁楼を後にした。



広報委員 田嶋

マルタ共和国を旅行して

井上登喜弥

2005年の「国際理解公開セミナー」でお話を聞いて以来念願であった地中海に浮かぶマルタ共和国にこの4月上旬、私の属するバイリンガルクラブの有志8人で8泊9日の手作りの旅をして来ました。

淡路島の半分、美しい海に囲まれたこの国には7000年を越える歴史があり、数々の戦いの舞台となった所でもあります。今は平和で安全、人々はフレンドリーで、想像以上に魅力のある国でした。

16世紀に聖ヨハネ騎士団の支配下に入り、その後トルコ軍の激しい侵攻に耐えて建設されたという城塞都市ヴァレッタ、各地の荘厳な教会、ライムストーンで統一された建物、巨石文明時代の神殿遺跡やハイポジ

ウム（地下神殿）の遺跡など、見所にこと欠きません。また観光立国らしく、現地で雇ったミニバスの運転手はガイドも兼ねており、親切な案内で私たちを楽しませてくれました。

セミナーの講師をされた友田善隆さんのご紹介でゼイツン市を訪ね、市長および副市長と懇談することもできました。ヴァレッタ観光の日は丁度大統領の交代の日に当たり、セレモニーを見る機会にも恵まれました。

最終日には、第一次大戦時に英国の要請でドイツ軍と戦った旧日本海軍の戦没者墓地を訪ね、旅の締めくくりとしました。



BC3600年に建てられた神殿遺跡をバックに(ゴゾ島)



海上から眺めた首都ヴァレッタ

ズームアップ

ALT (Assistant of Language Teacher) の紹介 (第2回) ジャリワラ フザイファ (Jariwala Hwzaifa) 先生



今回は、インドご出身のジャリワラ フザイファ先生にお話をうかがいました。ご自身も2人の子どものお父さんなので、子どもたちとの交流が得意です。先生は、2度目の来日で、小学校のALTの仕事に就かれました。初めての来日は、10年前で合気道を学びに来られました。その時、日本の文化にふれて日本が大好きになり、仲間の計らいで英語教師をされることになりました。

Q 英語のクラスの様子を教えてください。

私は「スーパーマン」になります。大きい体を利用して「私は、スーパーマンです。この大きな体を見なさい」と目を大きく見開いて大きな声で、子どもたちに語りかけます。私が、エネルギーにパワー全開で話かければ、子どもたちは、しっかりと話に耳を傾けます。

日本の子どもたちは、先生たちの話を聞けない、コミュニケーション能力がない子どもが多いと思います。私は、コミュニケーションにとって「話を聞く」という姿勢が一番大切だと思っています。

以前は、英語に関心がなかった子どもも、今では私の話を聞いて、大きな声で歌を歌ったりゲームをしています。

Q 日本の子どもの教育で、何か問題だと感じたことは

ありますか。

子どもが叱られる基準が甘いと思います。インドなら、授業中ふざけたり先生の注意を聞かなかったらすぐに教室の外に出されたり、お尻をたたかれたり、親が校長先生にきつく叱られるのですが、日本では問題にもならないことが多いようです。

インドが、教育に厳しいのは子どもにとって高い教育を受けることが、豊かな生活をしていくのに不可欠だと考えられているからです。将来家や車を手に入れるために、幼いときから高度な教育を強いられ、苦しい勉強をしている子どもが多いです。

ジャリワラ フザイファ先生は、子どもと一緒に元気がいっぱいクラスを楽しんでいらっしゃいます。先生の授業風景は、二和小学校のホームページでご覧になることができます。

ぜひのぞいてみてください。

広報委員 福井

お知らせ

● 協会活動説明会 (お礼)

3月14日(土)、海神公民館において協会初の活動説明会が開催されました。

当日は、39名の会員の方が参加され、各委員会による活動内容の説明に加え、実際に活動しているボランティアとの懇談も行われました。

協会では、説明会を通じて、参加された皆さんの委員会活動をサポートするとともに、より多くの方々に協会活動に参加して頂きたいと思っています。

● 大地震発生！避難所へいこう！

直下型地震の発生を想定し、小学校体育館での避難所宿泊体験を実施します。体験訓練では、応急救護法の指導や炊き出し、市の総合防災訓練への参加も予定されています。

日程 8月29日(土)～30日(日)

会場 未定(市内の小学校)

費用 無料

対象 外国籍市民とその家族 先着50人

申込 参加者全員の氏名、年齢、代表者の住所、連絡先を明記してFAXで事務局へ

● 2009 災害時外国人サポーター養成講座

大災害が発生した際に、言葉が通じないために、災害弱者になりうる外国籍市民の支援をするサポーターを養成する講座を開講します。今年は、船橋市と防災協定を結んでいる横須賀市、横須賀国際交流協会とともに、災害時の相互支援のあり方について理解を深めます。

日程：第1回 7月25日(土)午後2時～4時30分

「災害時のボランティアに求められる役割と広域連携の必要性」

講師：田村太郎氏

(NPO多文化共生マネージャー全国協議会代表理事)

第2回 8月8日(土)午後2時～4時30分

「新潟県中越沖地震の経験から」

「避難所宿泊訓練に向けて」

講師：須田麗子氏(司法通訳)

第3・4回 8月29日(土)～30日(日) 1泊2日

「避難所宿泊訓練と市総合防災訓練」

講師：田村太郎氏

第5回 9月12日(土) 時間未定

「訓練の振り返りと今後の支援活動」

講師：未定

第6回 9月26日(土) 午後2時～4時30分

「横須賀市との相互支援に向けて」

講師：田村太郎氏

第7・8回 平成22年1月16日(土)～17日(日)

「避難所宿泊体験」(横須賀市内)

会場：市役所11階大会議室ほか

定員：30人

費用：無料

申込：申込み用紙に必要事項を記入して

FAXで事務局へ

● 船橋市国際交流協会 役員の退任および新任理事

退任：中川喜矩副会長

新任理事：宮慶助氏、嘉規洋氏、日野隆氏、

岩田博之氏

あ と が き

協会HPに定額給付金についてのフラッシュアニメをつくることになりました。その中国語版作成をお願いするため中国人の友人を訪ねました。そして、久しぶりに奥さまの作る家庭料理をご馳走になりました。

辛さの中から、お二人との6年間の交流の思い出がよみがえってきました。料理は心で味わうということが実感されました。

好吃！謝謝！西安と船橋の両市は今年友好15周年を迎えます。これを機会にさまざまな国の人々との国際交流活動を通じて、その味わいがさらに深まり広がって行くことを願っています。

(YT)